## ノートルダム清心女子大学 施設の耐震化の状況

ノートルダム清心女子大学の**耐震化率** (耐震性を有している建物の面積の割合 )は、**100%**です。

(2025年4月1日 現在) 耐震診断した結果、耐震性ありと 耐震性を有している 新耐震基準で建築した 建物の面積(B+C) 診断された建物、及び耐震補強済 建物の面積 49.261 m みの建物の面積 27,918 m<sup>2</sup> (B) 耐震化率 100% 21,342 m<sup>2</sup> (C) ((B+C)/A)対象施設 建物の面積(注②) 耐震診断実施率 49,261 m (A) うち 耐震診断済みの建物の面積 旧耐震基準で建築した (E/D) 建物の面積 (注③) 21,342 m<sup>2</sup> (E) 100% 21,342 m<sup>2</sup> (D) 耐震性が劣る建物の 耐震診断した結果、耐震性が 面積 劣ると診断されたもので、未 改修の建物の面積 0 m (F) 0 m (F)

- (注) ① 文部科学省が実施した2025年度私立学校校舎等実態調査に基づいて算出したものです。
  - ② 対象施設 建物の面積は、全保有面積から小規模建物面積 (ポンプ室、機械室等 236㎡)を除いた面積です。
  - ③ 旧耐震基準で建築した建物とは、1981年(昭和56年)6月1日改正の新耐震基準(建築基準法施行令)施行以前に建築した建物です。